

「生命尊重」校長講話

人の心はコロコロ動く



人生には、いくつもの困難や試練があると思います。

そんな時、自分の心が持っている力を信じ、少しでも前進できるように今回の話を役立ててください。

以前、修学旅行に行った際に、京都のあるお寺で座禅体験を行いました。その時に聞いた、お坊さんの説法について紹介をします。

「それではこれから言うことを、指示に従って行ってください。まず、合図をしたら、目を閉じて1から20まで順に数えてみてください。数え終わったら、同様に、繰り返し1から数え直してください。ただし、数えている途中で、余計なことを考えてしまったらもう一度、1から数え直します。時間は1分間です。それでは目を閉じて、「始め」・・・「やめ」。

ほとんどの人は、一度も20まで数えられなかったと思います。私も数えることができませんでした。その時お坊さんは、こう言いました。「たった1から20までの数字を数える間にも、人はいろいろなことを考えてしまいます。人の心というものは、ひとつの所に留まることなく、コロコロと動いていくものなのです。(こころの語源は、コロコロが転じたという説もあります)。ですから、どんなに辛いことや悲しいことがあっても、心はその場に留まることなく、やがて動き出し、いつかは辛さや悲しさを乗り越えられるようになっているのです。人の心というものは、そういうものです。何があっても心配することなく、前向きに人生を歩いていきなさい」と話されていました。この言葉は、何十年経った今でも、忘れることなく心に残っています。

先日、フツとこの言葉を思い出した場面がありました。東京オリンピックの金メダリストが現在の心境を聞かれ「メダルを取った時は、人生で最高に嬉しかった瞬間だったのですが、今は、まったくその時の感情がなくなっています。『あの時の興奮はなんだったのだろう?!』』と思うほどです。気持ちは、次のオリンピックへ向かっています」と答えていました。この話を聞いて、“嬉しさ”も辛さや悲しさと同じで、いつまでもその感情にひたることなく、コロコロと動くのだと思いました。(一部省略)

悲しみを乗り越えると、人への“やさしさカード”が1枚もらえます。ぜひ、同じ境遇の人と出会ったときには、そのカードを使い前へ進む勇気を与えてください。